令和6年東御市議会9月定例会 招集あいさつ

(令和6年8月28日 午前9時開会)

1 はじめに

夏も終盤を迎え強い日差しの合間にも、秋の気配を感じる季節となりました。

本日ここに、令和6年東御市議会9月定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては何かとご多用の中ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

2 諸般の情勢

梅雨明けから猛烈な暑さとなり、全国各地で熱中症警戒アラートも頻繁に発出されるなど、大変厳しい夏となりました。

記録的な猛暑と集中豪雨に加え、台風5号が東北地方を横断、河川の氾濫や浸水などの被害が発生し、今なお復旧作業が続いております。

また、8月8日には宮崎県日向灘を震源とする、震度6弱の揺れを観測したマグニチュード7.1の地震が発生し、太平洋沿岸の各地で津波が観測されました。この地震を受けて気象庁は南海トラフ地震の想定震源域で、大規模地震が発生する可能性がふだんと比べて高まっているとして、一週間にわたり、初めて「南海トラフ地震臨時情報」を出し、特別な注意の呼びかけが行われました。

被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、市といたしましても、気象情報等を注視しながら、災害に対する万全な体制を取ってまいります。

内閣府が発表した令和6年7月の月例経済報告では、雇用や所

得環境が改善する中で、各種政策効果もあり「景気が緩やかな回復が続くことが期待される」との報告でありました。

しかし、8月に入り株式市場では日経平均株価が、過去最大の乱高下を記録し、更に外国為替市場では1ドル141円台まで高騰し7か月振りの円高ドル安水準まで上昇するなど、市場環境は不安定で、経済状況は極めて不透明であります。

また、岸田内閣総理大臣は閣議決定された「骨太の方針2024」の中で「日本経済は二度とデフレに戻らせることなく、成長型の新たなステージへと移行させていく。」と述べております。「少子高齢化・人口減少を克服し、国民が豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会の実現」に向けた国の取り組みと、経済状況を見極めながら、市として必要な施策を着実に進めてまいります。

7月24日から8月12日にかけてパリオリンピックが開催されました。各競技で熱戦が繰り広げられる中、日本代表選手たちのオリンピックにかける熱い思いと自身の限界に挑む姿は、私達に多くの感動と勇気を与えてくれました。

日本選手団が獲得したメダル数は45個と、海外で開かれたオリンピックとして過去最多を更新しました。「GMO アスリートパーク湯の丸」では、競泳400メートル個人メドレーで初出場です銀メダルを獲得した松下知之選手や、男子マラソンで6位入賞を果たした赤崎暁選手など、競泳や陸上を中心とした選手31名が強化合宿を行いました。

オリンピック期間中、市では選手のサインや市報のオリンピック特集号などを掲示した特別応援ブースを設けるとともに、今回初めての試みとなる「男子マラソン」と「女子マラソン」を応援するパブリックビューイングを実施したところ、湯の丸ゆかりの選手の応援をしようと2日間で約100名の市民の方が駆けつけて

くださいました。

地方創生に向けた取り組みの一つとして、今後も日本一の高地トレーニング施設「GMO アスリーツパーク湯の丸」の魅力発信に努め利用者の裾野を広げるとともに、スポーツツーリズムによる地域経済の活性化にも取り組んでまいります。

それでは、これまでの本市の動きの中の主な行事や、活動について申し上げます。

(スポーツ月間「チャレンジ・スポーツ・エイト」)

2014年から参加してきた住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が昨年で終了したことから、日常生活における市民のスポーツの習慣化と、新たなスポーツチャレンジのきっかけづくりを目指し、「チャレンジ・スポーツ・エイト」を今月開催しております。

期間中は中央公園芝生広場で、早朝からのラジオ体操イベントやボッチャ体験会が行われ、明日は日本体育大学体操部による演技発表会の開催が予定されており、大いに盛り上がることを期待しています。

今後も「する」「見る」「支える」スポーツ環境を整えながら、スポーツにあふれた活力と、魅力あるまちづくりを目指してまいります。

(市発足20周年・雷電没後200年 2024雷電まつり～東御どすこいSUNSUN～)

8月3日、市発足20周年及び雷電没後200年の節目の雷電まつりを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、東御市ふるさとPR大使である丸山

智己さんのスペシャルトークショーや、子ども相撲大会などに加え、ダンスイベントや雷電マルシェ、スポーツ団体を招いたイベントなど、子供達を中心に大いに賑わいました。

夜の部の踊りには、各区、地元企業など37連、約2,200名の皆様にご参加いただき、会場は大きな掛け声と踊り手の熱気に包まれ、沿道の方も含め多くの方が祭りを楽しまれていました。

来年も更に大勢の皆様方に、ご参加いただけることを期待しております。

(夏休み特別講座 ゼロカーボン大集合!!)

8月4日、市民の方の環境意識の向上を図るため、中央公民館において「夏休み特別講座 ゼロカーボン大集合!!」を開催しました。

環境に配慮した「買い物」「調理」「食事」「片づけ」を行うエコクッキングや様々な実験器具を集めた体験コーナー、電気自動車の試乗等により、身近にある再生可能エネルギーや今すぐできる省エネ行動、「今地球で何が起きているのか」など多くの家族連れの方々に、楽しみながら学んでいただく良い機会となりました。

(平和祈念式)

「終戦の日」の8月15日、議員各位をはじめ関係の皆様のご出席のもと平和祈念式を行い、恒久平和への誓いを新たにし、戦没者への追悼を行いました。

式典では東部中学校の生徒の作文が朗読され、お互いを理解するためには「対話をする事」が、よりよい関係に繋がっていくとの思いが綴られておりました。

改めて「平和と人権を守る都市宣言」の理念の下、非核、平

和、不戦の誓いとともに、希望に満ちた平和な東御市を築くことを決意いたしました。

(二十歳を祝う会)

8月15日、「二十歳を祝う会」が開催されました。

211名の方が出席する中、実行委員長と代表者1名からは、支えて頂いた多くの方への感謝をはじめ、ふるさと「とうみ」への思い、二十歳を迎えての決意や将来の夢などを発表していただきました。

また、丸山智己さんからのビデオメッセージや中学校時代の思い出ビデオが上映され、友人や先生との再会に花を添えました。

二十歳の節目をお祝いするとともに、輝かしい未来に向かって飛躍されることを心より祈っております。

(東御市クリエイター塾の開講)

8月31日に東御市発足20周年記念事業の一環として、東御市クリエイター塾を開講します。

この事業は、参加者が地元の魅力をテーマに映像を製作し、SNSを活用して情報発信することをプロの映像クリエイターから実践形式で学ぶ市民向け講座です。

来年2月までの6回の講座をとおして人材を育成し、市の魅力を全国へ発信することにより、シビックプライドを醸成することを目的としています。

クリエイター塾に大勢の皆様にご参加いただき、ともに市の魅力を発信していただきたいと考えております。

(防災訓練)

9月1日の防災訓練は、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」を受け、東御市でも大規模な地震が発生したとの想定のもと、市及び区、消防団を対象に災害時の初動体制を確認し、速やかに適切な防災体制を整える訓練を実施します。

東御市は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されていませんが、改めて災害に対する認識を深め、地域全体の防災力を高めていただきますようご協力をお願いします。

(刀剣振興)

9月14日より、東御市発足20周年特別企画展「東御の刀鍛冶―繋ぐもの―源清麿、山浦真雄、山浦兼虎、そして宮入法廣へ」が開催されます。

本展覧会では滋野に生まれ、江戸に出て新々刀期における江戸三作に数えられた源清麿とその兄、山浦真雄と息子兼虎、そして最年少で刀匠最高位の無鑑査刀匠となり、2010年に刀剣界最高峰の正宗賞を受賞された八重原に鍛錬場を構える宮入法廣刀匠を紹介いたします。

また、本展は人気オンラインゲーム「刀剣乱舞」とのコラボレーションが決定しており、ユーザーが展覧会公式SNSへの投稿に反応した回数であるエンゲージメント数値が25,000以上記録され、いわゆる「バズる」という現象が起きました。

これから本格的な行楽シーズンを迎え、多くの皆様に足を運んでいただき、東御市に大いに注目が集まることを期待しております。

(第32回巨峰の王国まつり)

東御市の秋の一大イベント「巨峰の王国まつり」を9月21日と

22日、第30回JAフェスティバルとの同時開催により東御中央公園の芝生広場で開催します。巨峰を中心としたぶどう販売をはじめ、東御市産農畜産物の出店、野外コンサート等を行います。

また、市発足20周年記念事業として、特別ゲストによるステージやアートイベント、記念ノベルティの配布などの特別企画を予定しています。

多くの皆様にご来場いただき、「ほどよく、田舎。とうみ」の秋を大いに楽しんでいただきたいと思います。

3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(1) 令和5年度決算

まず、議案第69号から議案第75号まで、令和5年度の各会計の決算について申し上げます。

令和5年度の東御市一般会計でございますが、法人市民税につきましては、原材料価格高騰などの影響を受け減収となったほか、固定資産税につきましても、設備投資が減少となるなか、個人市民税で給与所得者等の収入額が増加したことから、市税全体では前年度と比べ0.7%の増収となりました。

景気は、緩やかに回復しているものの、物価高騰に伴う需用費の増加等、厳しい状況が続くなかで、財政健全化に努めつつ、市民満足度の高い行政サービスへの重点配分に心掛け、事業を実施いたしました。

また、令和4年度からの繰越事業につきましては、御堂地区

ワイン振興施設整備事業のほか、農業用施設耐震・長寿命化事業、市民プール配管・設備等改修事業などを実施いたしました。

各特別会計、公営企業会計におきましても、概ね順調な事業運営がなされました。

これもひとえに、議員各位をはじめ市民の皆様方の格別のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます。

各会計の詳細な決算状況につきましては、後ほど副市長及び担当部長等から申し上げますので、私からは一般会計決算につきまして、その概要を申し上げます。

令和5年度一般会計の歳入決算額は、173億2,201万3,000円で、前年度に対し4億4,355万円、率にして2.6%の増となり、また、歳出決算額は、166億6,143万5,000円で、前年度に対し6億1,733万4,000円、率にして3.8%の増となりました。

歳入歳出の差引額は、6億6,057万8,000円で、令和6年度への繰越明許費の繰越財源を除いた実質収支は5億4,483万5,000円の黒字決算となりました。このうち、2億7,242万円を地方自治法等の規定により、財政調整基金へ繰り入れることといたしました。

一般会計の市債残高につきましては、令和5年度に新たに6億2,499万7,000円を借り入れる一方、25億3,608万円を返済したことから、年度末の起債現在高は、160億4,710万5,000円となり、前年度から19億1,108万3,000円の減となりました。

また、基金残高は44億2,964万6,000円で、前年度に比べ4億7,517万5,000円の減となりました。

なお、健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、後ほどその詳細をご報告いたしますが、5つの指標とも国の基準以内であり、概ね良好な状況でございます。

(2) 令和6年度補正予算

次に、議案第76号から議案第79号までの4件は、「一般会計」、「介護保険特別会計」及び「水道事業会計」に係る補正予算でございます。

はじめに、議案第76号「令和6年度東御市 一般会計補正予算（第5号）」につきましては、歳入歳出予算にそれぞれ523万7,000円を増額するものでございます。

内容としましては、湯の丸高原荘の照明LED化及び福祉医療システムの改修に要する費用で、早急にご審議、ご決定をお願いするものでございます。

次に、議案第77号「令和6年度東御市 一般会計補正予算（第6号）」でございますが、歳入歳出予算にそれぞれ5億7,569万9,000円を増額をお願いするものでございます。

増額の主なものとしては、生活保護に要する費用のほか、出生児童がいる家庭の経済負担軽減に要する費用、7月の豪雨により被災した農業用施設や農地に係る災害復旧費、公共施設の照明LED化改修工事費などの増額をお願いするものでございます。

次に、議案第78号「令和6年度東御市 介護保険特別会計補正予算（第2号）」につきましては、過年度介護保険給付費精算金の確定に伴う増額補正等をお願いするものでございます。

次に、議案第79号「令和6年度東御市 水道事業会計補正予算（第1号）」でございますが、人事異動に伴う人件費の増額補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明を申し上げます。

(3) 条例の一部改正

続きまして、条例の議案についてご説明申し上げます。議案第80号及び第81号につきましては、いずれも既存条例の一部改正でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明を申し上げます。

(4) その他の案件

次に議案第82号につきましては、現行の被保険者証の新規発行がなくなることに伴う長野県後期高齢者医療広域連合の規約の変更でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明を申し上げます。

(5) 人事案件

次に、議案第83号につきましては、人事案件として、人権擁護委員候補者の推薦につきまして、人権擁護委員法の規定に基づき、議会の意見を求めるものでございます。

詳細につきましては、後ほど申し上げます。

本定例会に提案します議案の概要は、以上のとおりでございます。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をい

ただき、認定、ご同意及びご決定を賜りますようお願い申し上げます。

4 むすびに

本日から9月8日までパリパラリンピックが開催されます。日本選手の活躍を大いに期待するとともに、「GMOアスリートパーク湯の丸」で厳しいトレーニングを積んだ多くの選手の皆さんへ、心からエールを送りたいと思います。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、今後とも格別なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集のあいさつといたします。

令和6年8月28日

東御市長 花岡 利夫